＊わすれがたき山陰＊ 山陰デスティネーションキャンペーン 2018.7.1▸9.30
Nostalgic San`in

ノスタルジック山陰

山陰デスティネーションキャンペーン

2018年7月～9月

鳥取県、島根県とJRグループでは、大型観光キャンペーン「山陰デスティネーションキャンペーン」を7月～9月に展開中。2018年は、鳥取県では伯耆國（ほうきのくに）「大山（だいせん）開山1300年祭」、島根県では「不昧公（ふまいこう）200年祭」などの記念事業が展開されている。キャンペーン期間中は、「日本の原風景」を感じることができる山陰エリアの魅力を楽しめる旅を提案していく。キャッチフレーズは「Nostalgic Sanーin わすれがたき山陰」。夏の山陰の夜を彩る「大山大献灯 和傘ライトアップ」「松江水燈路」といったイベントや、水木しげるロードと鬼太郎列車リニューアル、新たな観光列車「あめつち」や便利なアクセスバスなどを用意した。7つのテーマ（おもむき・うつろい・ときめき・えにし・いざない・あじわい・たしなみ）に沿ってノスタルジックな山陰を体感できる観光素材も用意している。さらに山陽新幹線区間で運行する「ハローキティ新幹線」とコラボレーションした観光PRやホテルと駅商業施設でのフェア実施など、山陰関連のイベントを全国各地で実施し、山陰DCをPRしていく。

7つのテーマ おもむき・うつろい・ときめき・えにし・いざない・あじわい・たしなみ

山陰本線を走る新たな観光列車「あめつち」が登場

鳥取県のキャンペーンイチオシ企画

伯耆國「大山開山1300年祭」

中国地方の最高峰「大山」は、古くより人々の信仰の対象であり、様々な恵みをもたらしてきた。今年は大山寺が開山されてから1300年。大山の歴史や雄大な自然がもたらす恵みを感じ、体験できる様々なイベントが開催される。西部の伝統工芸品である弓浜絣を使用した「特別御朱印帳」を販売。あわせて御朱印も1300年の特別なデザインとなる。期間は5月20日～11月30日。御朱印帳5千円（税込）、御朱印300円。

大山寺では開創法要当日から11月末日まで諸願成就を祈願する特別祈祷を実施する。期間は5月20日～11月30日。1万円（税込）。

毎年6月に行われる「大山夏山開き祭」の夜祭として開催される「たいまつ行列」を秋にも実施。神の火をもつ1300人がたいまつ行列となり参道を練り歩く。開催日は9月30日。18時15分から神事、19時からたいまつ行列開始。たいまつセット（記念品付）1300円（税込）。1300セット限定の販売。

大山大献灯　和傘ライトアップ

大神山神社奥宮と大山寺へと続く古の参道にライトアップされた和傘が約100本並び、参道をやさしく浮かび上がらせる。山陰の風景をイメージして職人の手作業により創り出された和傘1本1本が雅な明かりを放つ光景を楽しめる。

実施時期は8月10日～13日、8月24日～26日、9月22日～24日。時間は19時30分～21時30分。

大山大献灯アクセスバス

大山大献灯への便利なアクセスとして、JR米子駅～皆生温泉～大山寺までの「大山る～ぷバス」臨時便が運行。

運行日は大山大献灯和傘ライトアップ実施日。

大山大献灯　和傘ライトアップ

水木しげるロードがリニューアル

「ゲゲゲの鬼太郎」や「悪魔くん」を描いた漫画家・水木しげる先生は境港市出身。JR境港駅前通りは「水木しげるロード」と呼ばれ、沿道には170体以上の妖怪ブロンズ像が並び、妖怪神社や妖怪グッズ店もある人気観光エリア。今年7月には水木しげるロード誕生以来の最大のリニューアルを実施。車道を一方通行化し歩道を大幅に拡幅。妖怪ブロンズ像は、カテゴリー別のゾーンに配置。これまでになかった夜間の照明演出も実施される。水木しげる記念館も一部展示がリニューアルされる。

リニューアルした水木しげるロード ©水木プロ

鳥取砂丘

鳥取に来たら一度は立ち寄りたい鳥取砂丘。山陰海岸ジオパークの鳥取砂丘エリアに位置し、東西16㎞、南北2・4㎞に広がり、その中心部の約146haは、海岸砂丘として国内で唯一天然記念物に指定されている。

砂の美術館　早起き美術館

世界で唯一、砂の彫刻「砂像」を常設展示する施設「砂の美術館」を贅沢に貸切プランにした。開館前の特別な時間にゆっくりと鑑賞できる。

レストラン「アルマーレ」

浦富海岸

山陰海岸ジオパークに含まれ、洞門、洞窟、白砂の浜など様々な地形を観察できる地形・地質の博物館。特徴的な景観は、採種五島・千貫松島・城原海岸・鴨ヶ磯・龍神洞などが挙げられる。海水の透明度が高くシュノーケリングなど様々な体験メニューも楽しめる。夏には、遠浅で美しい海岸に多くの海水浴客が訪れる。

注目の東浜

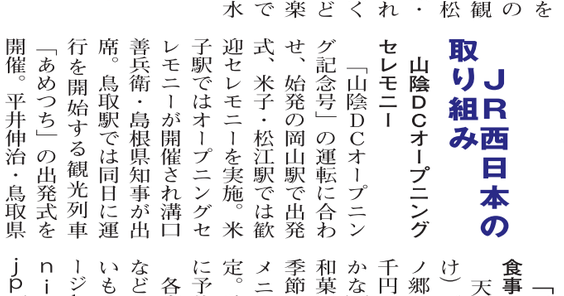
「TWILIGHT EXPRESS 瑞風」は、「山陽・山陰コース（2泊3日・周遊）」の3日目に、浦富海岸に近い東浜駅で立ち寄り地観光を実施。東浜駅はリニューアルされ、周辺は遊歩道などが整備され、東浜はビーチリゾートに生まれ変わっている。

瑞風の乗客も利用するレストラン「アルマーレ」は人気。地元の新鮮な魚介類や大山鶏、若桜町の鹿肉などを使ったイタリアンや、本格的なアフタヌーンティーやドルチェが楽しめる。

JR西日本の取り組み

山陰DCオープニングセレモニー

「山陰DCオープニング記念号」の運転に合わせ、始発の岡山駅で出発式、米子・松江駅では歓迎セレモニーを実施。米子駅ではオープニングセレモニーが開催され溝口善兵衛・島根県知事が出席。鳥取駅では同日に運行を開始する観光列車「あめつち」の出発式を開催。平井伸治・鳥取県知事が出席した。


オープニングセレモニー

新たな観光列車「あめつち」

観光列車「あめつち」が山陰DCにあわせて7月1日に運行開始。運行区間は山陰本線の鳥取（鳥取県）～出雲市（島根県）。車体全体の「紺碧色」は山陰の美しい空や海を、車体下部の「銀色」の帯模様は山陰の美しい山並みとたたら製鉄にちなみ日本刀の刃文を表現。コンセプトワーク、総合ディレクションと監修は、島根県出雲市出身の映画監督の錦織良成氏。車両デザインの色彩は、島根県松江市出身のアニメーション美術監督の吉田昇氏が担当。車両は2両編成で定員59人。車窓からは、日本海や大山、宍道湖などを楽しめるように徐行運転を行う。運賃は、鳥取から出雲市の場合、大人1人4540円。小児は3240円。

鬼太郎列車 ©水木プロ

「あめつち」車内での食事

天地御膳世明（よあけ）／2500円、大江ノ郷スイーツセット／2千円、山陰の酒と肴（さかな）／2千円、松江の和菓子詰合せ／2千円。季節、仕入れ状況によりメニューを変更する予定。乗車日の4日前までに予約が必要。

各商品のお申込み方法など、詳しくは「山陰いいもの探県隊」ホームページhttps://saninーitanken.jp/（山陰 いいもの検索）で確認できる。

鬼太郎列車リニューアル

水木しげるロードのリニューアルに合わせて、JR境線を走る「鬼太郎列車」全6種類も7月に順次リニューアル。山陰の景勝地を背景に、水木しげる先生の漫画「ゲゲゲの鬼太郎」に登場するキャラクターをあしらった車両は必見。米子駅の0番線ホームも妖怪たちで装飾されている。

「ハローキティ新幹線」

サンリオの人気キャラクター「ハローキティ」とコラボレーションした「ハローキティ新幹線」が6月30日から運行開始。

1号車「HELLO！PLAZA」は、西日本の各地域を期間限定で紹介。地域の特色豊かな産品を中心に購入できるショップスペースを設置。地域の魅力を紹介する映像コーナーなども設けた。また、7月から9月に開催される「山陰デスティネーションキャンペーン」に合わせ、車内を「鳥取 ハローキティ」、「島根 ハローキティ」のオリジナルペイントで装飾。期間中は鳥取県と島根県のイベントやスポットを紹介。一部日程では「山陰DCアンバサダー」をはじめ両県の観光関係者らが直接乗り込み、「山陰のいいもの」「山陰への旅」を案内する。運行初日には、博多駅と新大阪駅で出発セレモニーが行われ、ハローキティと山陰DCアンバサダーも参加しセレモニーを盛り上げた。

ハローキティ新幹線 車内で山陰をPR

ハローキティ新幹線 出発セレモニー

©1976, 2018 SANRIO CO., LTD.
APPROVAL NO. G591321

島根県のキャンペーンイチオシ企画

不昧公200年祭

京都、金沢と並ぶ日本三大菓子処で、茶処でもある松江。今年は、大名茶人で「不昧公」と呼ばれ親しまれている、松江藩松平家7代藩主「松平治郷」の没後200年を記念して、記念展示や記念茶会に加え、気軽に茶の湯文化を体験できるイベントを開催。

抹茶と和菓子のセット

国宝　松江城

堀尾吉晴により1611年に築城された後期望楼型天守の松江城。2015年に国宝に指定された。最上階の望楼からは松江市街や宍道湖などが見渡せる。7月から展示内容が順次リニューアルされている。また武将隊のガイドもスタートし好評となっている。

天守閣の入場料金は大人560円、小人280円（8月1日から料金改定。大人670円、小人280円）。

国宝　松江城

松江水燈路

国宝松江城周辺一帯に行灯を並べ、城下町松江ならではの光と影が織りなす幻想的な風景を楽しむことができる人気の光のイベント。例年10月の1カ月間の開催を、昨年のプレDCに引き続き9月1日から開催する。メーン開催日は会場全体にたくさんの和の灯りが並ぶ。堀端にも絵などが描かれた手づくりの行灯が足元を照らし情緒を演出、堀川遊覧船夜間運航では水面から楽しむことができる。

水燈路にあわせて国宝松江城天守の夜間登閣や夜間天守茶席など、夜間に楽しめる特別企画も設定している。

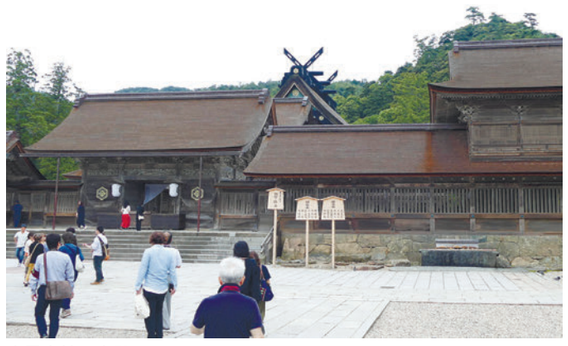
実施時期は9月1日～10月31日。メーン開催日は9月22日～10月28日の土休日となる。

松江水燈路

茶の湯堀川遊覧船

茶室をイメージさせる特別仕様の遊覧船を運航。遊覧船の船内で松江の伝統和菓子と自分で点てた抹茶をいただきながら、城下町の風情と茶の湯文化を手軽に楽しめる。

運行日は4月1日～2018年12月31日。1日6便の運航。


出雲大社　本殿

出雲大社（島根県）

「だいこくさま」で親しまれている大国主大神が祭られている。出雲地方では「神在月」と呼ばれる旧暦の10月に全国の神々が出雲大社に集まり縁結び会議が執り行われる。

〝静寂の出雲大社〟早朝参拝

清らかな朝の空気の中、出雲大社が参拝できる。観光ガイドが出雲大社の境内を案内しながら参拝する「観光プラン」、参拝後に地元の食材を使った朝食がとれる「朝食付きプラン」、ぜんざい粥付の「軽食付きプラン」がある。

出雲そば（八雲）

出雲ぜんざい(日本ぜんざい学会壱号店)

出雲大社の参道「神前通り」

神門通りには注目の新スポットが次々にオープンしており、店舗の種類も多種多様で、散策する人を飽きさせない。出雲そばや出雲ぜんざいは定番。

オープニングセレモニー

あめつちの出発式

あめつちで販売される弁当やスイーツ

団体臨時列車の運行

寝台特急サンライズ出雲（旅行商品専用）主催は日本旅行とジェイアール東海ツアーズ、びゅうトラベルサービス。

東京と山陰を結ぶお馴染みの寝台特急「サンライズ出雲」が、旅行商品専用列車として運行。

運転日・区間は9月15日東京22時21分発→出雲市翌13時7分着。編成は285系7両。

旅行会社発売のセットプラン旅行で購入できる周遊券

山陰3デイパス

山陰エリアの自由周遊区間のJR（特急・普通列車普通車自由席）が3日間乗り放題。鳥取と島根の周遊に大変便利な、9月末までの期間限定商品。

松江・出雲ミニぐるりんパス

現地の人気観光施設（10施設）入場（館）券と、自由周遊区間のJR（特急・普通列車普通車自由席）や指定の路線バスなどの乗り放題がセットになった商品。2018年4月より利用可能な路線バスが増え、更に便利になった。

この2商品は山陰エリアを着地とするJR利用の旅行商品とセットで主な旅行会社での発売。

訪日外国人旅行者向けの取組み

まんが王国とっとり満喫周遊パス

JRの外国人向け割引パス（「山陰・岡山エリアパス」「鳥取・松江パス」）を利用して山陰エリアを周遊する外国人観光客を対象に、鳥取県内の対象6施設の入館料と周遊ガイドブックがセットになった「まんが王国とっとり満喫周遊パス」（1千円、4日間有効）を発売する。設定期間は7月1日～12月31日。

対象施設は水木しげる記念館、青山剛昌ふるさと館、円形劇場くらよしフィギュアミュージアム、とっとり花回廊、鳥取二十世紀梨記念館なしっこ館、鳥取砂丘砂の美術館。

キャンペーンの詳しい内容、問い合わせ先は　山陰DC　検索　へどうぞ。
http://www.saninji.jp/dc/

平成30年7月豪雨の影響で運転を見合わせている線区がございます。
運行情報の詳細はJRおでかけネット（https://www.jr-odekake.net/）にてご確認ください。